石岡市立東成井小学校
学校だより　４１号
令和６年３月　８日
校長　　石﨑　重臣

太郎・次郎

「太郎・次郎」は，校庭にそびえるいちょうの木です

【組織目標】児童が主役　みつけよう　かんがえよう　やってみよう～認める　寄り添う　支える～

「思い」を伝えて……！

いよいよ６年生の卒業が間近に迫ってきました。７日(木)の午前に、学校評議員の渡辺信寛様から６年生一人一人に卒業のお祝いとして切り絵作品が贈られました。１枚の作品を仕上げるのに十時間近くかかるそうで、６年生は渡辺様の「思い」をとてもありがたく受け取ることができました。

また、「音楽鑑賞会」では、同じく学校評議員の本麻佳栄様によるピアノ演奏を全校児童で聴きました。美しい響きとやさしい音色に包み込まれた１時間でしたね。また、６年生は「ド」の音だけを演奏して、本麻様との連弾を楽しみました。ピアノに親しんでほしいという本麻様の「思い」を形にすることができました。

午後は在校生が企画した「６年生を送る会」が行われました。どの学年の発表も「思い」を込めた素晴らしいものでした。在校生や６年生の中でも涙を流す姿があり、とても感動的な会になりました。

各学年の発表
【１年生】詩の群読「ちいさいおおきい」・歌「ありがとうの花」
【２年生】ダンス「唱」
【３年生】合奏「エーデルワイス」・歌「キセキ」
【４年生】合奏「ｽｰﾊﾟｰｶﾘﾌﾗｼﾞﾘｽﾃｨｯｸｴｸｽﾋﾟｱﾘﾄﾞｰｼｬｽ」歌「明日へつなぐもの」
【５年生】スライドメッセージ・歌「友～旅立ちの時」「また逢う日まで」

私は、「思い」は「言葉にして初めて伝わるもの」があると同時に、「言葉にしなくても伝わるもの」があることを、子どもたちとともに一日過ごして、改めて感じました。６年生といっしょに過ごせるのも、あと５日です。「なるいっこみんなの思い」が一つになって、おたがいに「伝え合える」５日間になるといいですね。